



表紙のことば

8月2日、市役所周辺や袋井駅前商店街で「袋井よさこいおんない祭」が行われ、市内外から16チーム約500人の踊り子たちが参加しました。

参加者たちは、鮮やかなそろいの衣装を身にまとい、息の合った踊りを披露。駅前商店街に場所を移して行われた第2部の最後には、出場者全員による総踊りパレードが行われ、にぎやかなよさこいの音楽とともに踊り子たちのかけ声も響き渡っていました。

市民の動き

人口/86,786人 (前月比+86人)

(外国人登録者4,095人含む)

男性/43,792人 (前月比+38人)

女性/42,994人 (前月比+48人)

世帯数/30,604世帯 (前月比+58世帯)

平成20年8月1日現在

広報

ふくろい



2008年(平成20年)9月1日発行 第83号

編集・発行/
袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係
〒437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1
TEL 0538-43-2111 (代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

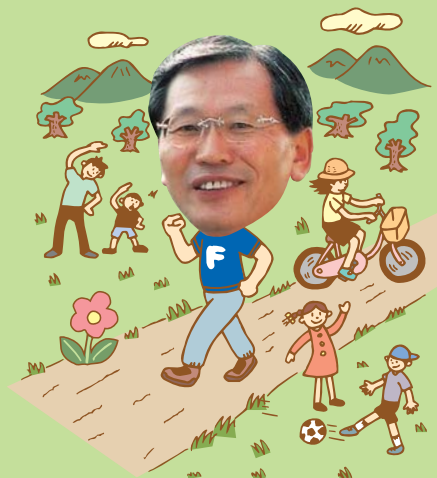


古紙配合率100%再生紙を使用しています

原田市長の

さんぽみち

散歩道



先日、東京で開催された同級生の集いへ久しぶりに出席した。お互いの近況など一通りの報告が終わると自然に故郷の自慢話になった。東京暮らしの彼らにとって、故郷は懐かしく、口調はひとしお熱弁となった。味自慢では、クラウンメロンを持って行ったため、目の前に食べごろのメロンが出され、話が楽しくなる好評であった。

故郷の偉人話になって、私は3人について語った。

村松生まれの川村驥山は、幼いころから才能を発揮し、天皇にも拝謁し、書家として初めて日本芸術院賞を受賞した。彼の生涯を書いた「天馬のように走れ」は中学生の課題図書に選ばれた。自分の能力を伸ばすことをどん欲に求めていく生き方に感動させられる。

「郷土の誇り」

山梨生まれの鳥居信平は、南極越冬隊長として有名な鳥居鉄也氏の父親である。台湾製糖に勤めていた時に造った地下ダムの技術が今改めて評価されていて、彼の功績についても今年中に本になる予定だ。戦前のかく日本人優位意識の強い中で、地元の人と一緒に

なって仕事を進めたことは、残っているダムとともに今でも現地で語り継がれているという。

梅山生まれの浅羽佐喜太郎は、医師で前記の2人と比べると天折したが、勇気と男気を持ち合わせた人だったと思う。ベトナム独立運動の指導者ハンボイチャウたち

をフランスと友好関係にあった明治政府の意向に逆らって支援した。ベトナムの教科書に彼の名前が載ったこともあると聞く。ナチスの迫害から離れるユダヤ人のために政府の指示に反してビザを発給した杉原千畝領事と余りにも似ていて、出席した全員から驚嘆の声が出た。

袋井には、このほかにも土地改良事業を日本で初めて行った、田原の名倉太郎馬など数多くの偉人と称される人がいる。私たちが郷土の先人の中から優れた人を捜し出して、その人たちが生きた道をたどり、功績を顕彰することはとても意義があることと思う。それは、自分の住んでいる袋井を誇りに思い、胸を張って生きて行くことに必ずつながるからである。



古紙配合率100%再生紙を使用しています